

雨後の新緑がひとときわ色濃く感じられる今日この頃です。

現在、各地区はサマーカップ予選会の真っ最中ですが、この時期は熱中症対策も必要な季節です。怪我や事故がないよう気をつけて大会運営に努めてまいります。

さて、県連盟では、毎年、理事・委員の皆さんを対象として夏季研修会を開催しております。研修会は、親睦バレーボール・懇親会・研修会の3部とし、各委員会や各地区連盟との親睦を深め、連盟の抱える課題を検討する機会としております。今回は、ホームページという場を借りて、多くの方に連盟の活動をお伝えたく研修会報告をさせていただくことにいたしました。

今年の夏季研修会は、去る6月7日・8日に実施いたしました。とりわけ研修会の部では、日頃、課題となっております『登録について』と『大会参加について』を議題とし、総勢68名の出席者のもと意見交換をしました。

これまでも、登録についての議題が理事会や研修会の議題に上がらない年はないほど、各地区の皆さんが気に掛けている課題です。登録の継続が難しくなったチームや、小学校区にチームがなく埋もれているバレーボーラーの救済にと、平成22年度より学区外制度を設けチーム数増を目指して努力して参りました。しかしながら、昨今の私たちを取り巻く環境や社会情勢などにより、度重なる制度の見直しによってもなお登録チーム数を維持していくことは困難な状況が今、目前に迫りつつあります。

神奈川県下11地区の状況はそれぞれで、統一を図ることの難しさを感じつつも、少しでも良い方向に向かうようにと、今後も話し合いを続けてまいります。方向性が決まり次第、チームの皆様にお知らせしたいと考えております。